

ARTS for HOPE

宮城チーム活動報告書 2014年12月10日

宮城・石巻大橋仮設団地集会所「ハッピードール

いつもの12月より、ずいぶん寒波の厳しい今年です。暖房の入った集会所に到着したとたん、「電気の下にテーブル並べてね」と声をかけられました。

そういえば、今までより、ちょっと室内が暗い感じ。「蛍光灯の下じゃないと、縫い物には暗いのよ」と。こんなところにも、本格的な冬がやってきている感じです。

今回は、パッチワーク用の型紙をあて、たくさんのパーツをつくり続ける方。

クリスマスのオーナメントやリースをつくる方。クッションカバーを仕上げる方。と、それぞれが黙々と作業している様子が見受けられました。

「あらあ、今日だったのね。忘れていたあ」と、遅れて登場の、毎回うさぎさんをつくっているおばあちゃんは、今日は、白いうさちゃんに挑戦と、針と糸を手にしませす。そのとなり、毛足の長い赤い布地で、セサミストリートに出てくるようなパペット風の作品をつくって、わたしたちに笑って見せてくれた女性。なんと、帰る時には、その作品が、モコモコのバッグに変化していて、本当にびっくりでした。

「ものさしは?」「黒いゴムひもほしいんだけど」「チャコペンあったよね」

なんと、それが入った箱を忘れて来たスタッフ。平謝りだったのですが、足りないものを「わたし持って来たのを使って」と、優しく手を差し伸べてくださった方もいて、本当ありがたい限りでありました。

型紙を使ったり、寸法を正確に測ってからものをつくり始めたりと、やはり、ここらへんがとっても大人な感じの大橋団地集会所のみなさんの作品づくり。

そして、お昼、いつも通り「次来たときに、出来上がったのを持って来て見せちゃうね」と、見送られるスタッフなのでした。

